



令和7年度 駒大生社会連携アイデアコンテスト 応募要項



駒大生社会連携アイデアコンテストとは

駒澤大学では、社会から本学に寄せられる社会的課題の解決に向けたアイデア創出や価値共創への参画を期待する声を集約して、「駒大生社会連携アイデアコンテスト」を開催しています。

駒澤大学と関わりのある企業や組織等が抱える社会的課題について、学生には、若者ならではの自由闊達な想像力と本学で学んだ知識を活かして、サステナブル（持続可能）な解決策を提案していただきたいと考えています。

中央教育審議会答申において、2040に求められる人材像について

- ・基礎的で普遍的な知識・理解と汎用的な技能を持ち、
- ・その知識や技能を活用でき、
- ・ジレンマを克服することも含めたコミュニケーション能力を持ち、
- ・自律的に責任ある行動をとれる人材

と、しています。

このコンテストに参加する学生には、その力を養ってくれることを期待しています。企業や組織等からのニーズに応えるためには、その要望を適切に理解するための傾聴力や状況把握力が必要となります。企業や組織内の関係者とは異なる課題発見力や想像力も求められる一方、自分の考えを他者に分かり易く伝える発信力も重要となるでしょう。

実社会で「いま」起こっている課題に、あなたのアイデアを活かしてください。

令和7年度駒大生社会連携アイデアコンテストの背景

駒澤大学は、「仏教の教えと禅の精神」を建学の理念として、「ともに、よりよい明日を築く」ことを使命としています。1913（大正2）年1月15日に、駒沢の地に校舎を竣工し移転して以来、駒沢のまちの人びと、企業、組織等と連携・協働して、よりよいまちづくり、未来づくりに貢献してきました。

共催企業である東急電鉄株式会社（以下、東急電鉄株）は、美しい生活環境の創造を目指して、鉄道事業を基盤としたまちづくりを通じた社会課題の解決に取り組み続ける企業です。駒沢の地においても、地域全体を豊かにしていく長期循環型のビジネスモデルで事業を進めるだけでなく、

本アイデアコンテストの共催を含む社会貢献活動を両輪の輪として、持続可能な地域社会の実現に貢献されています。

「駒大生社会連携アイデアコンテスト」は、本学と共催企業が、持続可能な社会への貢献、特に駒沢の地を中心としたまちづくり、未来づくりに寄与することを目的として、駒大生によるアイデアに期待して開催するものです。

【参照：令和5年度社会連携アイデアコンテストについて】

[>令和5年度「駒大生社会連携アイデアコンテスト」の結果について](#)（本学ホームページ）

[>駒澤大学×Green UNDER GROUND 令和5年度「駒大生社会連携アイデアコンテスト」の結果について](#)（東急電鉄㈱ホームページ）

応募テーマ

「地域のポテンシャルを最大限に引き出す新たな移動創出のアイデア」

第2回目となる今回は、駒大生にとって馴染みの深い、田園都市線駒沢大学駅を中心として、「地域のポテンシャルを最大限に引き出す新たな移動創出のアイデア」をご提案いただきます。

同駅は、田園都市線池尻大橋駅～用賀駅のリニューアルプロジェクト「[Green UNDER GROUND](#)」（以下「GUG」）の第1弾として、リニューアル工事が2025年3月31日に竣工しました。

[>田園都市線「駒沢大学駅」リニューアル工事が竣工しました](#)（本学ホームページ）

[>「サステナブルな地下鉄」を目指す田園都市線5駅リニューアルプロジェクト「Green UNDER GROUND」第1弾駒沢大学駅リニューアル工事が竣工し、4月13日から駅構内デジタルサイネージ「GUG PLATFORM」を新たな情報発信媒体として導入します](#)（東急電鉄㈱ホームページ）

リニューアルプロジェクト名に含まれる「Green」は、田園都市線の路線カラーであり、「快適・安心」、「スムーズ」、「クリーン・サステナブル」、「親しみが生まれる」、「新しさがある」等、様々な想いが込められているといます。開業後40年以上が経過した田園都市線の地下区間5駅を、訪れた人が心地良く、ワクワクする体験ができる空間に生まれ変わらせることを目指してプロジェクトが進められています。

[>「サステナブルな地下駅」を目指す田園都市線5駅リニューアルプロジェクト「Green UNDER GROUND」がスタート](#)（東急電鉄㈱ホームページ）

[>GUG Instagram](#)

以下のキーワードを参考として、柔軟な発想でアイデアを考えてください。

<キーワード>

- ・ポテンシャルを活かしたアイデア

- ・地域拠点やメディアを活かした地域活性化のプロモーションアイデア
- ・学生と地域がともに創る未来
- ・新たな移動創出につながるプロモーション

※ 今回は移動創出のアイデアの募集であるため、商品開発や独自割引サービス等は対象外とします。

コンテストの流れ

6月5日(木)	応募要項発表
6月9日(月)	質問受付開始(10時より)
6月30日(月)	質問受付締切(17時まで)
7月8日(火)	応募受付開始(10時より)
9月19日(金)	応募締切(17時まで)
9月下旬～	第1次審査(書類審査)
10月上旬	※書類審査を行います。
10月20日(月)	第1次審査通過者発表
11月14日(金)	プレゼンテーション用データ(拡張子.pptx)提出締切
11月29日(土)	第2次審査(プレゼンテーション)
	審査・表彰式

応募資格

駒澤大学学部生・同大学院生

- ※ **個人または3人までのグループでの応募**に限ります。応募は**1人1件**とします。
「個人で1つ、グループで1つ応募する」や「AグループとBグループのメンバーとして応募する」といったことはできません。
グループで応募する場合、代表者が否かに関わらず、1人1件までしか応募できません。
- ※ グループで応募する場合、代表者を1名決め、応募資料に明記してください。
- ※ 応募要項の内容の遵守について誓約することが条件となります(機密保持等)。

応募方法

(1) 応募資料の作成方法

応募資料は、Microsoft PowerPointで作成してください。

応募資料はPDF(拡張子.pdf)で提出してください。

スライドの1枚目に、以下の①～②について必ずご記載ください。

①アイデアの名称、②応募者全員の氏名・所属学部・学科名

内容の指定はありません。キーワード、参考資料、審査基準等を参考に作成してください。

スライドの枚数は、発表時間 10 分に相当する枚数としてください。

スライドには、動画を組み込まないでください。

(2) 応募資料の提出方法

KOMAnet Gmail を利用して、e メールにて、下記の応募先に応募資料をお送りください。

応募先：koma-idea@komazawa-u.ac.jp

(3) エントリーフォーム

応募資料をメールで送信後、以下のエントリーフォームより必要事項に回答してください。

エントリーフォーム：

[令和7年度「駒大生社会連携アイデアコンテスト」エントリーフォーム](#)

エントリーフォームの回答項目は以下のとおりです。

1. 誓約
2. 応募者プロフィール（氏名、学生番号、所属学部・学科、学年）※全員分
3. 応募アイデア概要
 - ① アイデアの名称
 - ② アイデアの概要（400 文字以内）
 - ③ アイデアの優位性（400 文字以内）
 - ④ アイデアを考えた背景（400 文字以内）
4. アンケート

エントリーフォームへの回答の際は、KOMAnet ID によるログインが必要です。

回答は 1 人（組）1 回のみといたします。

グループで応募する場合、エントリーフォームには代表者が回答してください。

あらかじめ回答案を準備し、余裕をもって行うことを推奨します。

(4) 応募期間

応募期間：2025 年 7 月 8 日（火）10：00～2025 年 9 月 19 日（金）17：00

エントリーフォームへの回答送信がなされた時点で、「応募完了」とみなします。

応募資格や指定項目に不足がある場合、応募期間外の応募は、書類審査の対象となりません。

審査方法

第 1 次審査（書類審査）、第 2 次審査（プレゼンテーション）を行います。

審査委員会は駒澤大学及び共催企業の代表者で構成します。

審査結果について、個別の問い合わせには対応いたしません。

ファイナリストは、第 2 次審査において共催企業からアドバイスを受けることができます。

第 1 次審査

第 1 次審査は、応募資料をもとに、書類審査を行います。

審査する項目は以下のとおりです。

- ① 課題解決力

- ② 独創性
- ③ 社会貢献性
- ④ 発展性
- ⑤ 発信力

各審査項目について評価し、優秀者5組程度をファイナリストとして選出します。
第1次審査に通過した方に、第2次審査の詳細についてメールでご案内します。

第2次審査

第2次審査は、11月29日(土)に、対面でプレゼンテーションによる審査を行う予定です。
1組につき、口頭発表10分+質疑応答5分、計15分の審査となります。

応募資料を投影し、プレゼンテーションを行っていただきます。

第1次審査で掲げた審査項目「⑤発信力」について、第2次審査では、プレゼンテーションカ
も審査の対象とします。

※ Microsoft PowerPointでアニメーションやノートの機能を用いて発表することも可能です。
ただし、スライドの内容は応募資料(応募したPDF)から変更不可とします。

Microsoft PowerPointでの発表を希望する場合、11月14日(金)までにデータ(拡張子.pptx)
を提出していただきます。

※ 第2次審査に参加できない場合、ファイナリストの資格は無効となります。

表彰

今年度は以下のように各賞を設けています。

最優秀賞：1組(駒澤大学より5万円、共催企業より副賞を贈呈)

優秀賞：1組(駒澤大学より3万円、共催企業より副賞を贈呈)

特別賞：若干組(駒澤大学より1万円又は共催企業より副賞を贈呈)

応募状況によって、褒賞の内容は変更する可能性があります。

応募条件

- ◆ 応募希望者は、応募要項をよく読み、内容を遵守して応募してください。
- ◆ 応募アイデアは応募者のオリジナルのもので、未発表のものに限ります。
応募に際しては、応募者自身の責任において、共催企業を含む第三者の知的財産権の侵害、そ
の他の問題が生じないように注意してください。
駒澤大学及び共催企業は、これらの法的権利等の問題について一切の責任を負いません。
- ◆ 応募するアイデアは必ず応募者ご自身でも内容を保存・管理し、本コンテストが終了するまで、
応募したアイデアを公開することは控えてください。
- ◆ 応募アイデアを検討する際は、共催企業を含む第三者にとって迷惑となる行為は厳に慎んで

ください。

迷惑行為の例：

- 共催企業の許可なく、その事業所（駅や店舗等）において関係者や顧客にインタビューする。
- ◆ 応募資格等の違反、アイデアの盗用、知的財産権の侵害等、不正が発覚した場合には応募を無効とします。

個人情報取り扱いについて

- ◆ 応募により入手した個人情報は、「学校法人駒澤大学個人情報保護方針」に則って管理します。ただし、個人情報の一部（氏名・所属）は共催企業へ開示いたします。
- ◆ すべての応募者について、アイデアの名前、概要等を共催企業及び大学のホームページや広報誌、SNS等で公開する場合があります。
- ◆ 第1次審査を通過したファイナリストについては、氏名、所属、アイデアの名称及び概要を公表します。（氏名、所属の公表は第1次審査以降、アイデアの名称及び概要の公表は第2次審査以降を予定しております。）
- ◆ 第2次審査は駒澤大学・共催企業の関係者が観覧する予定です。第2次審査の様子（写真・動画を含む）は、駒澤大学及び共催企業のホームページや広報誌、SNS等で公開する場合があります。予めご了承ください。

受賞アイデアについて

- ◆ 受賞アイデアは、共催企業と協議のうえ、実現する可能性があります。ただし本コンテストでの受賞は、必ずしも実現を保証するものではありません。実現に向けた検討をする場合は、受賞者、駒澤大学、共催企業が、役割や責任について協議する機会を設けます。
- ◆ 実現及びその検討に際して、駒澤大学及び共催企業が受賞アイデアの一部または全部を使用できることに同意していただきます。
- ◆ 知的財産権等の権利化について、受賞者と共催企業との間で別途協議する必要がある場合、駒澤大学の職員が必要に応じて協議に立ち会うことができることとします。

注意事項

- ◆ **本コンテストについて情報発信する際は、内容・方法等に注意してください。**前述のとおり、応募アイデアは、本コンテストが終了するまで公開しないでください。また、本コンテストの終了後であっても、共催企業の情報や応募アイデア等が不適切な表現・方法で公開されることにより、共催企業が発信した公式な情報と混同される恐れがあり、共催企業や情報受信者に不利益が生じかねません。応募アイデアについて、誤解を生じるような内容や方法でホームページや SNS に投稿する等の不適切な情報発信は厳に慎んでください。

共催企業の商標、屋号等を含む知的財産について言及が必要な場合であっても、本コンテストへの参加の範囲を超えることは認められません。

- ◆ 受賞アイデアについては、本コンテストの終了以降も、アイデアの実現の有無が決定するまで公開しないでください。

実現する場合は、上記「受賞アイデアについて」のとおり、共催企業等との協議において取り決めてください。

実現しない場合は、実現しないことが確定するまで、受賞アイデアを公開しないでください。

質問及び回答について

- ◆ 本コンテストに関する質問は、専用の質問フォームにて受け付けます。

受付期間：6月9日（月）10時～6月30日（月）17時

質問フォーム：[令和7年度「駒大生社会連携アイデアコンテスト」に関する質問フォーム](#)

- ◆ すべての質問及びその回答は、「[よくある質問](#)」として学内限定で公開いたします。必ずご確認ください。
- ◆ 共催企業に直接問い合わせることは控えてください。

主催：駒澤大学

共催：東急電鉄株式会社（敬称略）

本件担当：駒澤大学社会連携センター